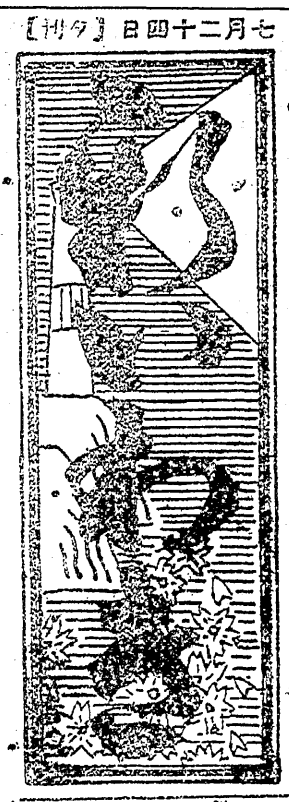
七月二十四日【夕刊】



休日 毎月大祭日
郵便料 一部 十五錢 二部 廿五錢
廣告料 一行四〇錢 特殊廣告 特殊廣告
發行所 印刷人 編輯人 平谷政吉
發行人 編集兼 平南町世
新いわき新聞社

平町助役の決定に
愈よ各派の下協議
辛未クラブと野崎派では 昨夜青沼派は今晩打合せ

平町の後任助役として現書記酒井寅之助氏を内定し來る廿七、八日頃承認町會を招集の模様であることは昨報したが右に對する各派の打合せは昨廿三日午後六時例の

十人組 の辛未倶樂部は月見町根本町議宅に協議の結果大體同意することに決し野崎滿藏氏の牛耳る民政黨に於ても同日午後六時から南町同黨倶樂部に

打合せ を行ひ野崎氏外永山、馬目(雅)武田の四町議及び同黨有志約二十名を會して意見交換の末同志の中に渡邊濟氏を推さうとしてゐる行き掛りもあるので

面目上 大勢順應を心好からずとなすものある爲めに承認保留となつた尚ほ同派では豫ねて片倉製糸から値下げの交渉を受けた水道料に就ても協議の結果縣内各都市に比較し

事實安 いものとせに非常な豊作で反當平均收穫五石一斗九升二合五勺この一升の重量三百五匁餘で既往六ヶ年の平均一反歩當り二石九斗七升一合二勺に比較し實に二石二斗二升一合三勺を增加し一升の重量に於ても三匁七分重い斯る好成績を得ることは作期中の天候が順調で草丈け分けつ共に頗る良好であつた關係もあるが耕作技術の進んだことにも原因してゐると

▲早生反當收穫六石一斗二合五勺、一升重量三百八匁(二石八斗三升八合六勺、重量三百十六匁)三石二斗六升三合七勺增重量八匁減、中生四石六斗二合五勺、重量三百十四匁(二石八斗二升三合五勺、重量三百六匁)一石八斗六升九合增、重八匁增、晩生四石七斗八升二合五勺、重三百五匁餘(三石二斗五升一合五勺重二百八十五匁)一石五斗三升一合增重十匁增

石城地方
麥の豐作
平年作に比して約倍加

石城郡神谷村の縣農試分場に於ける本年の麥作收穫調査は左記の如く平中晩生共撥抜小路酒店大谷武雄方より依頼を受けて賣掛代の桑畑の無錢飲食を金に從事し同町青木政太郎外十數名から百九十餘圓の取立をなしながら一錢も入金せぬと大谷を欺き該金全部を横領費消してゐたことを發覺し平署で嚴重取調べ中である

靜岡生れの
無錢飲食男
小名濱町で數軒を荒す

當時住所不定靜岡縣富士郡原田村生れ遠藤勝之進(二〇)は去る廿一日石城郡小名濱町横町料理店丹野ヒロ方へ登樓し六圓五十錢の無錢飲食をなしたる外つねに縣知事すべく本日平土木監督所でこれが入札を行ふ筈であるが竣工期は大體昭和七年八月卅一日の豫定である

豐間防波堤
新設工事
來一日から着工

石城郡豐間港の防波堤新設並に延長二十間、同護岸工事六十間、この工費三萬五千圓の修築工事はかねて主務省へ認可申請中の處昨二十三日指令があつたので來月一日より直ちに工事に着手すべく本日平土木監督所でこれが入札を行ふ筈であるが竣工期は大體昭和七年八月卅一日の豫定である

石城地方の稻作は
平年に漕付けるか
それは向後の天候次第 極端に悪いのは早生種

縣農試神谷分場の調査に依れば本田に移植後の本年の水稻作況をきくに四月廿五日播種以降の温度降雨は共に順調で苗の發育頗る良好であつたが六月十八日本田に移植後の

天候は 雨天續きで温度低く爲に草丈の伸長分(四〇)は今曉一時ごろ平町南

同意及 び前記十八組の大體賛成を加ふれば既に十九名の絶對多數になるので人事に關する批評を避け結局は滿場一致で酒井氏に決するものでないかと觀測されてゐる

同意 意向を綜合せば町會の其日まで形勢を觀望することになる模樣であつて要するに現議員の大勢としては井上派六名の支推に係る酒井候補に萩原氏に與する三名の

一般の 意向を綜合せば町會の其日まで形勢を觀望することになる模樣であつて要するに現議員の大勢としては井上派六名の支推に係る酒井候補に萩原氏に與する三名の

川柳
谷或門 (五)
十寸叟生

(5)百姓の茶屋になる頃降りたがり

花開いて風雨多しと云ふ唐詩の意を言つたものでせう百姓の茶屋になる頃で花見の季節を現はさうとは隨分無理な手段でまるで繼めいた句であります

又此句質問には茶屋になる頃とありますが茶屋になる日をと云ふ方が正しいかと思はれます斯く『頃』と云はず『日を』限定してあるとは是れは梅若祭の惡らしくも考へられます京都の公卿吉田少將の息梅若丸が人商人の爲め誘拐せられ東の隅田川の傍りで虐殺せられたので里人之れを憐れみ梅若塚を建てゝ其菩提をとむらひ毎年其忌日に祭りをなす梅若の母班女の前吾子の行衛を慕ふて狂氣し隅田川のほとりにさまよいたる事は能はず『日を』限定してあるとは是れは梅若祭の惡らしくも考へられます京都の公卿吉田少將の息梅若丸が人商人の爲め誘拐せられ東の隅田川の傍りで虐殺せられたので里人之れを憐れみ梅若塚を建てゝ其菩提をとむらひ毎年其忌日に祭りをなす梅若の母班女の前吾子の行衛を慕ふて狂氣し隅田川のほとりにさまよいたる事は能はず『日を』限定してあるとは是れは梅若祭の惡らしくも考へられます京都の公卿吉田少將の息梅若丸が人商人の爲め誘拐せられ東の隅田

既往七
ヶ年平均に比較すれば

草丈に於て五分減、分蘖數は一、九の增となつてゐる一般に早生種の發育は劣つてゐるが中、晩生種はやゝ良好であつて收量の如きも

平年作 にまでは遭ぎ付けると豫想されたが七月に入つて連日の降雨續きに温度著しく低下したゝめ病虫害の發生續出し品質は低落して今秋の收穫は甚だ悲觀すべき

狀態と なつたが尚今後天候は恢復しても今日迄の天候不順による稻の衰弱甚しいため容易に稻熱病を發生せしめる虞れあり之が豫防に就て充分なる注意が肝要であると語つた

こゝにも無錢飲食

石城郡好間村大字北好間字堂平居住前科一犯增子寅藏(四〇)は今曉一時ごろ平町南岡飲食店はりまやこと井口

平庶民金庫の
業務發展
來廿六日から百七跡に移轉

平町十五丁目信用組合平庶民金庫は現在の事務所狹隘のため來る廿六日より同町二丁目元百七銀行平支店跡に移轉すると

石城三區の
女教員會
來月一日から平第二校にて

石城郡第三區平方部十六校の女教員會では來る八月一日から三日間毎日午前九時より四時まで平第二小學校に於て裁縫遊戯、律動遊戯の理論と實際に關する情操教育講習會を開催するが講師は同方面の研究家として知られてゐる今泉馨女史であると

旅の恥を
鄕里で晒す

石城郡内郷村大字宮橋本正春(二八)湯本町大字關船渡邊一郎(三〇)の兩名は去る五月七日千葉縣中山町旅人宿芳本館に投宿し一週間の宿料廿四圓餘を踏み倒し逃走せること此程發覺廿三日平署に檢舉され取調中

憎まれ口

美人と云ふものをどうくては眞の美人でないなぞ見れば一番當つてゐる見ても美人と云ふ美人でなだらうか、不美人の反對美しい女で通るなら結構だが化粧で化けて衣裳で胡魔化す今時の女にトントそんなものは見當らぬ、呉服屋と小間物屋と貴金屬屋に惜しい金を支拂はなければ美人ではない但し それは誤當人だけの滿足が大部分で誰が云はれやうが敢へて問題でなく傍はどうでも自分で自分を美人と信用し己惚れ得る美人であつたら何所からも文句はでざらぬ頗る以て天下泰平、之れを稱して絶對安全の美人とぞ云ふ

平第一校で
朝の學校
夏休み中の緊縮行事

平第一小學校では學童家庭の負擔輕減の意味で本年は夏期中の臨海學校を取止めたことは既報したが之に代る休暇中の行事として毎日午前六時から六時半までの朝食前全校生徒を登校せしめて體育鍛練の朝の學校を開くことゝなつた

保證書を
僞造する
行詰つた魚屋

平町長橋町五〇魚行商高木寅吉(五〇)は去る六月中平魚市場より魚掛代金六十四圓を借り返却に窮して町内某の名義を勝手に使用して保證人となし借用證を僞造したること發覺し廿三日平署に檢舉され目下取調べ中

目下取調べ中

石城郡町村長會視察團

北海道の視察　夏井村長　阿部瀧藏　(九)

諸稅負擔割、本道に於ける直接國稅地方稅及び市町村稅の負擔額は道民經濟力の增進と共に年々增加の趨勢を示し昭和四年度に於ける負擔總額は三千三百二十六萬三千九十九圓に達し之れが平均負擔額は一戸當り六十九圓二十一錢五厘、一人當りは十三圓一錢六厘である

納稅狀態、全道廳の町村稅納付狀態を調査するに世界一般不況の餘波を受け其納付愈よ不良に見ゆる、今左に昨年度よりの納付成積を見るに前年同期に比較すれば更に三分五厘の減となる、即ち道廳内に於ける昭和五年度第三期町村稅の納入成績は前年に比して更に惡化を示すに至つた即ち全道平均納入の歩合は左の如く七割五分九厘にしか達せず前年同期の七割九分三厘に比して三分五厘の低下を見ることゝなつたが此れが原因は一般經濟界の不況による農產物の價格暴落、水產の價格低下等が前述の如く全幅的に働いてゐる譯で道内町村の窮收は察するに餘りあるものがある、十四支廳中最も成績の良好なるは何と云つても空知支廳で石狩、河西これに次ぎ後志宗谷、釧路、檜山の各支廳は成績不良の部に屬し根室支廳に至つては納入歩合五割三分七厘とゝふ全道一の不成績を示してゐる

雨傘と日傘
ヤルツ
雨外出には必ず雨傘
近い壹圓以上
七月の空
色とりどり
女學生用白日傘
パラソルと日傘

看護婦派出
平町一丁目
磐城看護婦會
熊崎千代
電話三五七番

そばから
そばかからの枕は頭の爲には一番良いと申されて居ります
平町土橋　福麥マルマン商店　電話四八九番
一升三錢　そばこ百匁八錢　そば一人前五錢

看護婦派出
磐城看護婦會
平町一丁目
電話三五七番

◇破格の勉強で歡迎される
福岡縣筑後小倉銘酒　大角國特約
牛谷商店
平文町若松病院隣

内科　平町南町
小兒科
入院　醫學士　大森勇
應需
大森醫院
電話二五八番

◎病体改造!!
カイソネーチヤ療法の出現
海草蒸熱療法　なるが故に從來の物理療法と異り各種病症に特効あるは既に定評があります
論より証據あらゆる難病者は即時御實驗を乞ふ
特許中山式　(平町大町電話三七一番)
カイソネーチヤ磐城分院
吉田五平

ライト
寫眞館
平町搖籃小路
電話五三五番

内科、小兒科
婦人、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町、電話五一三番
高久病院
院長醫學士高久忠

黑髮の美!
フツクラと結び上げた黑髮の美!
その艶……その香……この魅力!
それは「八重」御愛用の艶です
特色　染め方至極簡單
自然の黑さに染る
絹に優色、褪色せず
頭髮を少しも痛めません
▽全國婦人ニアリ
定價　廿五錢
發賣元
石川製藥所
大阪市北區
北浜町二丁目
三がら染　赤毛染
平發賣所
五丁目　山野邊藥局

破格的大勉强
の新しい書店
舊磐中校下
乾商店跡に
新店であるが故の一時的勉强ではない
永久に薄利多賣主義、親切、迅速をモットーとして貴樣の御期待に奉仕する
商品目
書籍雜誌　中等教科書一式
中等學校參考書　小學參考書
ノート雜記　一般文房具
諸帳簿紙類　高級萬年筆
平町　搖籃小路
電話三一五番
振替東京三五八〇八番
「マツ」書店

共濟病院
輕費診療開始
郡内廿四ケ町村の囑託により六月一日より輕費診療を開始
◇診療科目　内科、小兒科、外科、性病科、皮膚科、產婦人科、物理療科、耳鼻咽喉科、×光線科
◇診察料　輕費診療　五十錢　本會員　無料
◇藥價(一日分)　輕費診療　本會員　十五錢
◇入院料(一日分)　輕費診療　本會員　一圓以上
◇尙御不明ノ點ハ各町村長並ニ本院ニテ御遠慮ナク御聽キ下サイ
磐城共濟會(電話六四一番)

腹を傳へて食べる
良品廉價
磐城共濟會

脚んで食べる
(絕對に胃腸を害さぬ)
淋病と消渴の
特効藥　濟淋
平町一丁目
本舗　責任製劑　水野藥局
振替貯金口座　福島八八七六